

4月のお休み
2館1室共通のお休み
毎週木曜（定期）
29日（水・祝）

開館時間
午前9時30分～午後7時
※大柿図書室は日曜日のみ
午後5時まで

4月のミニ図書館

期日	時間・場所
	午前11時～正午
1日(水)	切串交流プラザ
15日(水)	午前11時～正午 三高会館

図書館
だより



江田島市立図書館
ホームページ

江田島図書館 ☎ 0823-42-1417

■みんなの広場「手話であいさつ」

簡単なあいさつや自己紹介を学びます。

日時 4月18日(土) 午前10時30分～

場所 江田島図書館2階会議室

対象 どなたでも

定員 10人程度



5月5日はこどもの日スペシャル

日時 5月5日(火・祝)

①午後1時30分～2時30分

②午前9時30分～（先着50人）

場所 ①鷺部交流プラザ1階研修室

②江田島図書館・鷺部交流プラザロビー

内容 ①絵本作家ムカゴズさん絵本ライブ

②缶バッジのワークショップ

対象 どなたでも（小さいお子さんは保護者同伴）

※駐車場が満車の場合、鷺部公園グラウンドに駐車してください。

江田島図書館年間定例行事案内

■パステルを愉しもう

第2火曜日 午前10時～

パステルで絵葉書等を制作

■おはなし会

第2・第4土曜日 午前10時～

絵本の読み聞かせ・工作

■おはなしタウン

第3月曜日 午後2時30分～

絵本の読み聞かせなど（未就園児対象）

■みんなの広場

第3土曜日 午前10時30分～

工作・講習など

能美図書館 ☎ 0823-45-0075

■第240回ふれあい広場「お花見コンサート」

桜の花をめでながらN.L.S（のうみライブラリーシンフォニー）によるライアー演奏のコンサートを行います。

日時 4月4日(土) 午前11時～

場所 能美図書館2階研修室

対象 どなたでも（事前に申し込みが必要）

参加費 無料

■第241回ふれあい広場

こどもの日スペシャル「ボードゲームであそぼう」
ボードゲームやカードゲームなど、昔ながらの小道具でみんなであそぼう。

日時 5月5日（火・祝） 午前10時～午後3時

場所 能美図書館2階研修室

対象 どなたでも（小さいお子さんは保護者同伴）

能美図書館年間定例行事案内

■おはなし会「カンガルーくらぶ」

第1土曜日 午前10時30分～

絵本の読み聞かせ（未就園児～小学生対象）

■絵本の会

第1・4火曜日 午前10時～

絵本・語りについて学ぶ

■アート

第2月曜日 午前10時～

アートセラピーを通して自分を見つめる

■N.L.S（のうみライブラリーシンフォニー）

第3土曜日 午後4時～

図書館の催しでライアーを演奏

■読書会

第3火曜日 午後1時30分～

毎月1冊の課題本を決めて語り合う

■詩の会

第3金曜日 午前10時～

さまざまな詩を読み、語り合う

大柿図書室 ☎ 0823-57-3071

■おはなしむら

絵本の読み聞かせと工作（スポンジであおむしをつくろう）

日時 4月11日(土) 午後2時～

場所 大柿図書室 児童コーナー

対象 小学生以下（小さいお子さんは保護者同伴）

定員 6人程度（事前の申し込みが必要）

参加費 無料

■かみしばいごや

かみしばいの上演「あおむしだれのこ」ほか

日時 4月26日(日) 午後2時30分～

場所 大柿図書室 児童コーナー

対象 小学生以下（小さいお子さんは保護者同伴）

定員 6人程度

“つなぐ・つながる”をテーマに市内で活躍する人やお店をリレー形式で紹介！

ETAJIMA
GoON! Vol.55

はまもと かおり
濱本 香織 さん

【取組紹介】

KaAoSu(かおす)

母娘の3人で作ったワークショップユニット。

江田島市を拠点に子ども先生がワークを展開。

醸茶屋(かもすちゃや)

店舗を持たない発酵茶屋

森の中の染典

森の中で一日中いろんな染を楽しめるイベント

時代の変化に対応できる子育て

個性的な服や小物を身にまとい、娘さん2人と楽しそうに來られた。気になったので尋ねると、「古着屋さんで好きなものを選んで着ています。あまり服装はこだわらないんです。」と笑いながら応えてくれた。濱本香織さんは、江田島市の自然や人柄に魅了され、広島市から移住してきた。親子3人で楽しめることがないか探すと、キャンプだった。休日には島々をめぐった。江田島市での夕日を見たときに感動してこの生活が毎日だったらしいな、と思った。

江田島市で空き家を探しているうち、島の人達の人柄を知り、さらに好きになった。夕日・オーシャンビュー！島の人たちの人柄で移住を決め、4年前に待望の移住を実現した。

もう一つの移住の決め手は、子どもたちに時代の変化に対応できる力をつけて欲しいと思ったから。どんな社会でも生き抜く力を持つてほしい。コロナ禍を経て強く感じた。

子どもたちに多くのことを経験してほしいとの思いから始めたことも主体の

染物に興味があった濱本さんは、染物ができる人を集めて楽しんでいるうち、興味がある人が多くいることに気づき、自然の中でイベントを行うまでになった。

他にも子どものアレレギューがきっかけで食にも興味を持ち、麴を使って発酵調味料や



ワークショップ屋さん「KaAoSu(かおす)」は、子どもたちがモノ作りをし、イベントの準備、当日の販売を行う。興味のあることを自分で楽しみながら、さらに小さい子にも教える。

「子どもたちが多くの選択肢を考えられるように様々な体験をさせたい。」子どもたちと多くの体験を一緒にしていくことで濱本さん自身の新しい世界も広がっていく。



発酵食品を作っています。いつかは、おばあちゃんちのおもてなし。ができるお店を持ちたいとの思いも出てきた。

服装と同様に、濱本さんの子育ても個性的な方もれない。でも様々な経験をした子どもたちは、将来きっと今の経験がよかったと振り返るだろう。

加えて濱本さんが発信する江田島市での取り組みも誰かに伝わり、どこかで悩んでいるシングルマザーの背中を押すだろう。子育ての楽しさが伝わることを願う。

取組紹介 Ka Ao Su (かおす)



Instagram

醸茶屋 (かもすちゃや)



Instagram

森の中の染典



Instagram